

## メッセージアウトライン テサロニケ人への手紙 第二1:5～9 「神の正しいさばき」

[5]「このことは、あなたがたを神の国にふさわしい者とするため、神の正しいさばきを示すしるしであって、あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国のためです」

ここではクリスチャンが、信仰のゆえに迫害や苦しみに会うのには、二つの意味があることを教えている。

①神の国にふさわしい者とするため…神はクリスチャンを神の国にふさわしいものとするために、あえて逆境に置かれることがある。→Ⅱテモテ3:12、ヨハネ15:20、使徒14:22、へブル12:9~11、黙示録3:19

②神の正しいさばきを示すしるし…神の正しいさばきは、イエス・キリストが世の終わりに天から来られる再臨の時に明らかになる。信仰を持って迫害や患難を忍んでいるならば豊かな報いがあり、逆に信仰者に迫害や苦しみを加える者たちにとっては、神からの怒りの報復を刈り取ることになる。それゆえ、迫害と患難、忍耐と神への従順こそは神の正しいさばきの現れる第一歩としてのしるしとなる。→Ⅱコリント4:17

[6-7a]「つまり、あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えてくださることは、神にとって正しいことなのです」

ここでは5節を受けて、神の正しいさばきがどのように具体的に明らかになるかということを示している。イエス・キリストの再臨の時に現実のものとなる神のさばきは、現在の状況の逆転の形をとって現実化される。その時、信仰者を苦しめていたものには、報いとして苦しみが与えられ、逆に苦しめられていた信仰者は報いとして永遠の神の国の安息に入る。パウロはこのように書き送ることによって、自分たち同様に信仰の戦いを続けているテサロニケ人たちを励ましているのである。

[7b]「そのことは、主イエスが、炎の中に、力ある御使いたちを従えて天から現れるときに起こります」

これはイエス・キリストの再臨の時の様子である。Ⅰテサロニケ4章13節以下に書かれていることと照らし合わせると、クリスチャンはすでにこの時までには携挙によって主キリストのもとに挙げられていると考えられる。クリスチャンは空中で主と会う。→4:16,17

そしてその後、主は彼らと御使いたちとともにさばきのために地上に来られるのである。

ここで一つ注意しておかなければならないことは、信仰者は自分たちを苦しめる人々に対して自ら報復したり、その滅びを願うのではなく、彼らが真に心を開かれて、救い主キリストを信じることができるようにとりなし、祈り、機会をとらえて福音を伝えていくことが大切である。

福音が宣べ伝えられ、あかしされ、それでも信じようとしなかった人々に最終的な神のさばきが臨むのである。→マタイ24:14 それゆえその時には、もはや弁解の余地はなくなる。

[8-9]「そのとき主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に報復されます。そのような人々は、主の御顔の前とその御力の栄光から退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです」

「神を知らない人々」…意識的に心を閉ざして真の神を知ろうとしなかった人々。また、福音を聞き、神を知っていても、あえて自己中心に歩み、キリストを信じず、神のみこころに従おうとしなかった人々にもさばきは臨む。→マタイ7:22~23

やがて神の正しいさばきの時は来る。私たちの経験する信仰の苦難はやがて主イエスの再臨の時には豊かな報いと永遠の重い栄光へと変わる。その時まで、私たち信仰者は私たちの人生で出会うすべての人々に、善を行い、良い証しをし、福音を伝え続ける者になりたい。